



小林輝久社長コラム

老朽化したインフラ問題を題材にした著書『日本のインフラ危機』（岩城一郎著）、『あなたの街の上下水道が危ない!』（橋本淳司著）を拝読して感銘を受けました。今までは「壊れてから直す」という場当たりの対応のクライシスマネジメントが主流になっていましたが、建設業界の人手不足や建築設備機器の高騰・納品まで時間がかかるなどの観点から顧客の皆様へのリスクマネジメントの為に建築設備の『予防保全』を当社から提案させていただきますのでよろしくお願い致します!

新和トピック

スタッフ紹介

皆さん、こんにちは。私の名前はアンです。呉に来て1か月以上が経ち、新しい現場で道具や作業方法、ルールの違いに戸惑いながらも一から学び直しています。最初は大変でしたが、職場の皆さんの親切な指導と支えにより、少しずつ慣れ成長を実感できるようになりました。自分の課題にも気づき、責任感を持って取り組んでいます。感謝を忘れず、早く職場に貢献できるよう努力していきます。



建築設備診断技術者(ビルディングドクター)からの提言

エレベーターの耐震性について大切なお知らせ

地震発生時のエレベーターと乗客の安全性について

東日本大震災を経て「昇降機耐震設計・施工指針」が2014年に改定されました。(通称:14耐震)本指針においては地震感知器の設置が推奨されています。しかし、古いエレベーターには地震感知器が備わっていない場合があります。地震発生時に乗客の安全性を高めるためにも、エレベーターへの地震感知器の設置を強くお勧めいたします。



地震から乗客とエレベーターを守りましょう!

地震が発生すると、**エレベーターの重要な部品が損傷する危険性**があります。これらの部品を保護することで深刻な被害を回避し、ダウンタイムを最小限にすることができます。ビルオーナー様や管理会社の皆様、保守契約されているエレベーター会社へご確認してみてください。

廃棄物部だより

パッカー車が買えない!? 現状のパッカー車事情
廃棄物収集に欠かせないパッカー車ですが、現在は調達が非常に困難です。見積りは4か月前に依頼しましたが未だに届きません・・・。
価格も7年前の約600万円から今や1,000万円超へと高騰しています。背景には部品不足やコスト上昇があります。こうした中でも当社は整備を徹底し、お客様に迷惑を掛けぬように安定した回収体制を維持しています。「当たり前」を守るための裏側をご理解いただければ幸いです。

